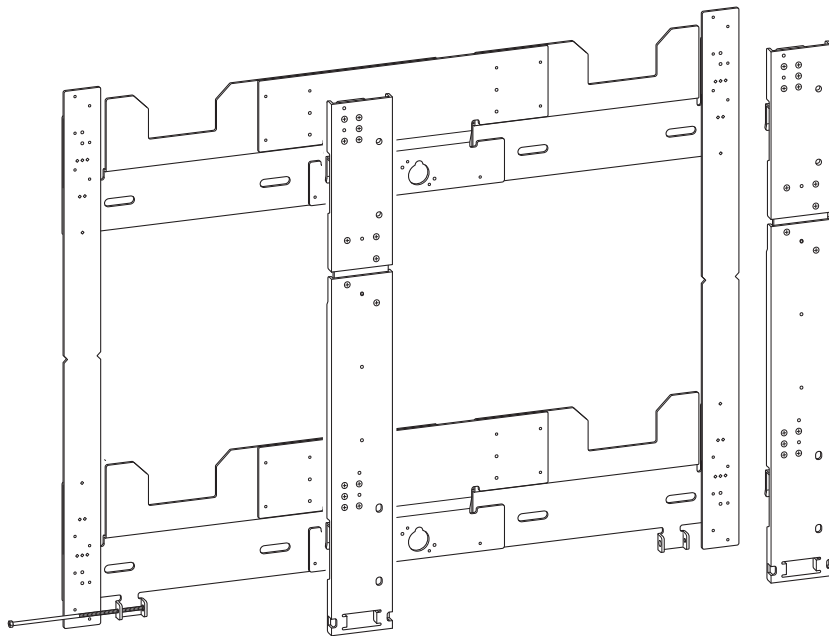


施工説明書

壁掛け金具（垂直取り付け型） **業務用**

品番 **TY-WK98PV1**



日本語

ENGLISH

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ お客様へ

この「施工説明書」は、工事業者用です。取り付け工事は、必ず工事専門業者にご依頼ください。
また、工事完了後は、この「施工説明書」を工事業者よりお受け取りのうえ、大切に保管してください。
移設、撤去の際には、工事専門業者にご依頼のうえ、この「施工説明書」をお渡しください。

■ 工事業者様へ

この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。
特に「安全上のご注意」（3～5ページ）は、施工前に必ずお読みください。
工事完了後は、この「施工説明書」をお客様にお渡しください。

■ 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより
事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。

■ もくじ



安全上のご注意	3
製品の構成	6
機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方	8
組立図.....	8
壁面に取り付ける金具の組み立て	13
機器本体に取り付ける金具の組み立て.....	16
取り付け方	18
機器本体への金具の取り付け	18
壁面への金具の取り付け.....	19
機器本体側の準備	21
機器本体の設置	22
壁面取り付け穴位置寸法図	25
ねじ締め付けトルク	26

安全上のご注意






必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
 	気をつけていただく内容です。

警告

	■ 工事専門業者以外は取り付け工事および接続機器の増設や取り外しを行わないでください (工事の不備により、落下してけがの原因となります。)
	■ 荷重に耐えられない場所に取り付けしないでください (取り付け部の強度が弱いと、落下してけがの原因となります。)
 分解禁止	■ 壁掛け金具を分解したり、改造しないでください (落下したり、破損して、けがの原因となります。)
	■ 取り付け強度上の安全係数を配慮してください (強度が不足すると、落下してけがの原因となります。)
	■ 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保してください (長期使用により設置場所の強度が不足すると、落下してけがの原因となります。)
	■ 機器本体の取り付け、または取り外しの際には、機器本体と壁や金具に挟まれるおそれがあるため、周囲に人がいないことを確認し、注意して作業をしてください (手や指がはさまり、けがの原因になることがあります。)

注意

	■ カタログで指定した機器以外には、使用しないでください
	■ 指定方法以外の取り付けは行わないでください (落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。)
	■ あお向け、下向けや横倒し、逆さまに取り付けて設置しないでください (機器内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。) (落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。)
	■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱が当たる所に取り付けしないでください (機器に悪影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。)
	■ 機器本体の通風孔をふさがないでください
	■ 壁掛け金具使用時は機器本体後面と取り付け面との空間をふさがないでください (内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。)

安全上のご注意（つづき）



注意



- 機器本体の最外周面から上下、左右は 10 cm 以上、空間を確保してください。
後面は金具取り付け面との空間を確保してください
(火災の原因となることがあります。)
- 取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください
(壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。)
- 取り付けの際は、本体抜け防止用ねじのねじ締めができる空間を確保し、
本体抜け防止用ねじのねじ締めをしてください
(機器本体が落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。)
- 取り付けの際は、専用の構成部品をご使用ください
(機器本体が落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。)
- 機器本体を取り外す場合には、壁掛け金具も取り外してください
(壁掛け金具にあたるなどして、けがの原因となることがあります。)
- 使用を終了した商品は撤去してください
(倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。)
- 機器本体の取り付け、取り外しは本体が 25 kg 以上のときは 2 人、
50 kg 以上のときは 4 人で行ってください【機器本体の取扱説明書に従ってください】
(機器本体が落下して、けがの原因となることがあります。)
- 取り付け工事の際は、指をはさまないようにご注意ください
(けがの原因となることがあります。)



指はさみ注意

取り扱い上のお願ひ

- 1) 直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。
- 2) 壁掛け金具のお手入れは、柔らかい乾いた布(綿・ネル地など)でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。
なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは塗装がはがれたりしますので、使用しないでください。
(機器本体のお手入れは機器本体の説明書に従ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
- 3) 粘着性のテープやシールを貼らないでください。壁掛け金具の表面を汚すことがあります。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。(変質の原因となります。)
- 4) 設置時、衝撃などによる機器本体の「パネル割れ」が発生する場合がありますので、
取り扱いにはご注意ください。

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。

安全上のご注意（つづき）

取り付け工事上の留意点

- 工事専門業者以外は取り付け、取り外し工事を行わないでください。
工事の不備により、落下して、けがの原因となります。
- 本機は機器本体を垂直に取り付けてご覧いただくための壁掛け金具です。
垂直以外の場所に取り付けて使用しないでください。
- 機器本体の性能保証やトラブル防止のため、次の場所には取り付けしないでください。
 - スプリンクラーや感知器のそば
 - 振動や衝撃の加わるおそれのある所
 - 高圧線や動力源の近く
 - 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
 - 暖房機器の風が当たる所
 - エアコンの下などの水滴のかかるおそれのある所
- 取り付け場所の構造や材質にあった工法で取り付け工事を行ってください。
- 取り付け面への取り付けは、取り付け面の材質（木材、鉄骨、コンクリート等）に合った市販品のボルトをご使用ください。
- 機器周囲温度が 40℃を超えることがないように空気の流通を確保してください。
機器本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。
- 取り付け工事中に製品や床に傷が付かないよう、柔らかい毛布や布を使い、作業してください。
- ねじ止めをするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。
- 機器本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。
- 取り付け工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。
- シーリングライト（スポットライト・ハロゲンライトなど）の下に
機器本体を取り付けしないでください。
高熱によりキャビネットが曲がったり、いたんだりするおそれがあります。

業者様へのお願い

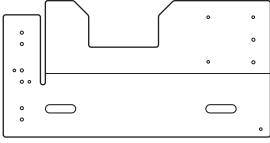
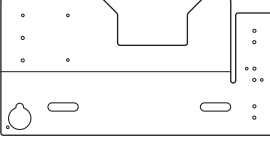
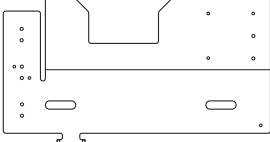
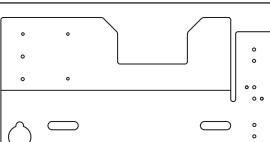
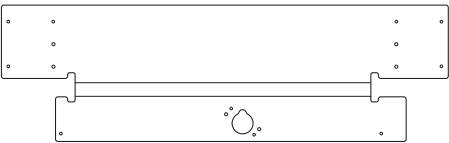
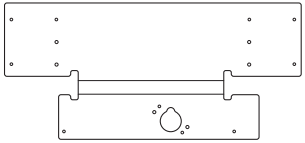
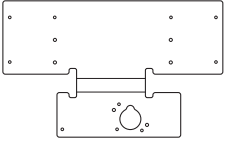
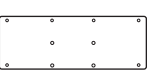

- 壁掛け金具取り付け工事と機器本体取り付け工事を別の業者が行う場合は、壁掛け金具取り付け工事後に機器本体取り付け工事を行う業者へ、この説明書をお渡しください。
- 工事終了後はお客様へこの説明書をお渡しください。

製品の構成

本製品は機器本体を壁面に設置する際に使用する金具です。
機器本体を垂直に取り付ける際にご使用いただけます。

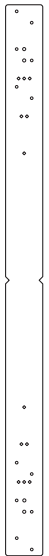
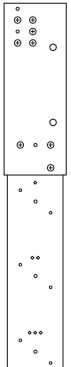
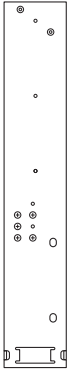

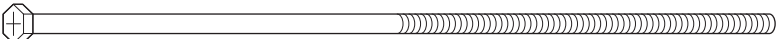

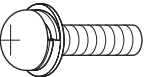
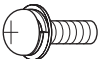
■構成部品

以下の部品が入っていることを確認してください。□ は部品番号です。() は数量です。

部品名	外観 (数量)
ベース上金具 (左) □ A-1	 (1 個)
ベース上金具 (右) □ A-2	 (1 個)
ベース下金具 (左) □ A-3	 (1 個)
ベース下金具 (右) □ A-4	 (1 個)
ベース中央金具 800 ※1 □ A-5 (水平ピッチが 800 mm の時に使用します)	 (2 個)
ベース中央金具 600 ※1 □ A-6 (水平ピッチが 600 mm の時に使用します)	 (2 個)
ベース中央金具 500 ※1 □ A-7 (水平ピッチが 500 mm の時に使用します)	 (2 個)
ベース中央金具 400 □ A-8 (水平ピッチが 400 mm の時に使用します)	 (2 個)
スペーサー □ A-9	 (2 個)

※ 1 必ずスペーサーを取り付けてください。
スペーサーを取り付けずに使用すると、金具が変形するおそれがあります。
スペーサーの取り付け方は「壁面に取り付けの金具の組み立て」(13 ページ) を参照してください。

製品の構成（つづき）

部品名	外観（数量）
サイド金具 A-10	 <div style="text-align: right;">(2 個)</div>
機器本体用金具（上） B-1	 <div style="text-align: right;">(2 個)</div>
機器本体用金具（下） B-2	 <div style="text-align: right;">(2 個)</div>
皿ねじ (M4 × 6) C-1	 <div style="text-align: right;">(32 本)</div>
本体抜け防止用ねじ (M5 × 200) C-2	 <div style="text-align: right;">(1 本)</div>
本体抜け防止用ねじ (M5 × 70) C-3	 <div style="text-align: right;">(1 本)</div>
機器本体固定用ねじ (M8 × 20) C-4	 <div style="text-align: right;">(4 本)</div>
機器本体固定用ねじ (M6 × 12) C-5	 <div style="text-align: right;">(4 本)</div>

機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方

この壁掛け金具は、VESA 規格準拠の金具です。

機器本体の取り付けピッチや設置の向き（横置き / 縦置き）により、使用する金具やねじ止め位置が異なります。ご使用になる機器本体の取り付けピッチをご確認のうえ、ベース中央金具の選択、およびサイド金具と機器本体用金具のねじ止め位置の設定をしてください。

組立図

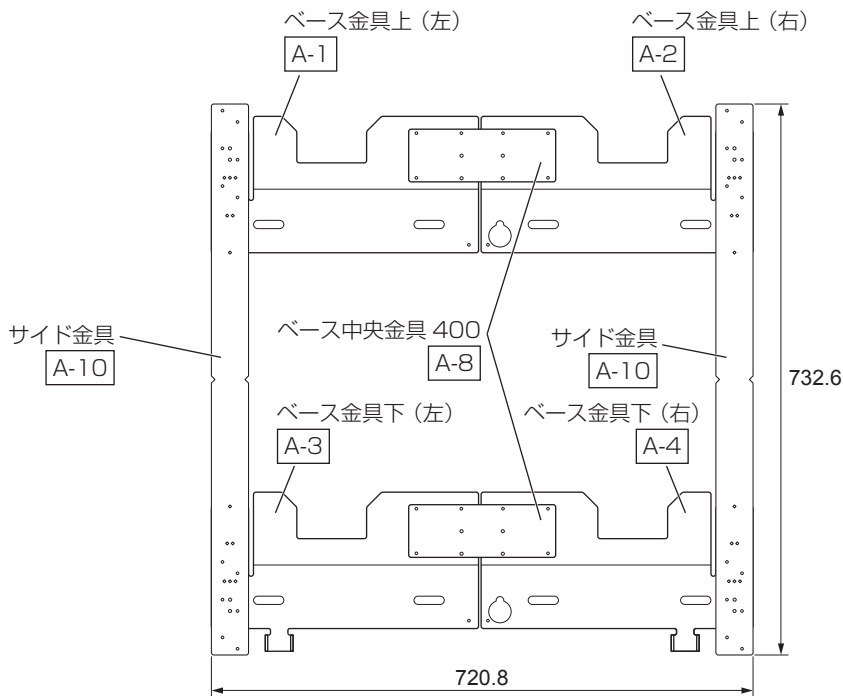
機器毎の取り付けピッチは、下記ウェブサイトに掲載されている各機器の仕様書、または取扱説明書で確認できます。

https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/spec_manual/

■ 取り付けピッチ（400 × 400）のセット：横置き設置、縦置き設置

正面から見た場合

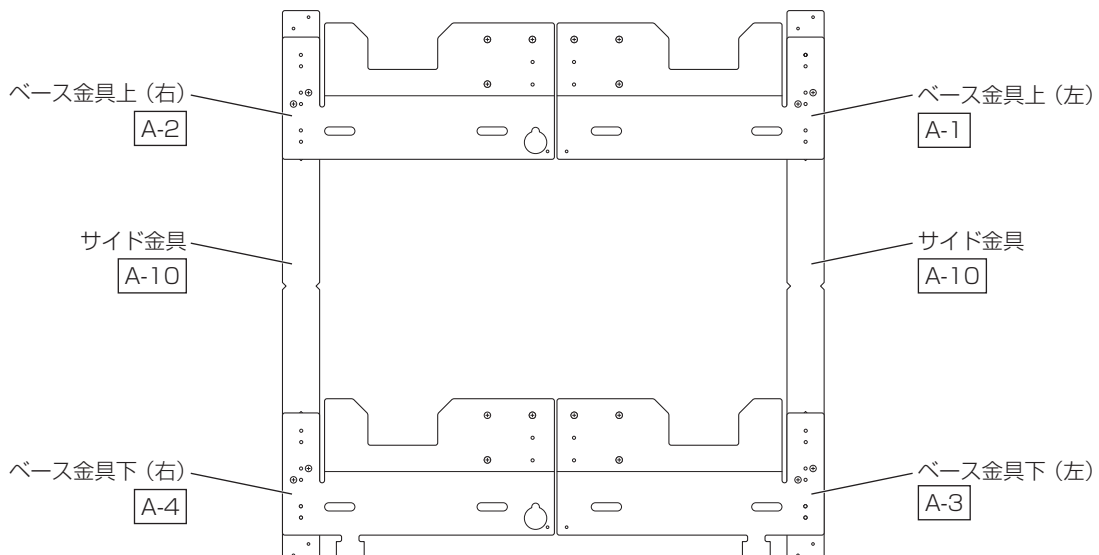
(単位：mm)



A-1	1 個
A-2	1 個
A-3	1 個
A-4	1 個
A-8	2 個
A-10	2 個
C-1	20 本

裏面から見た場合

●この面が壁と接します。

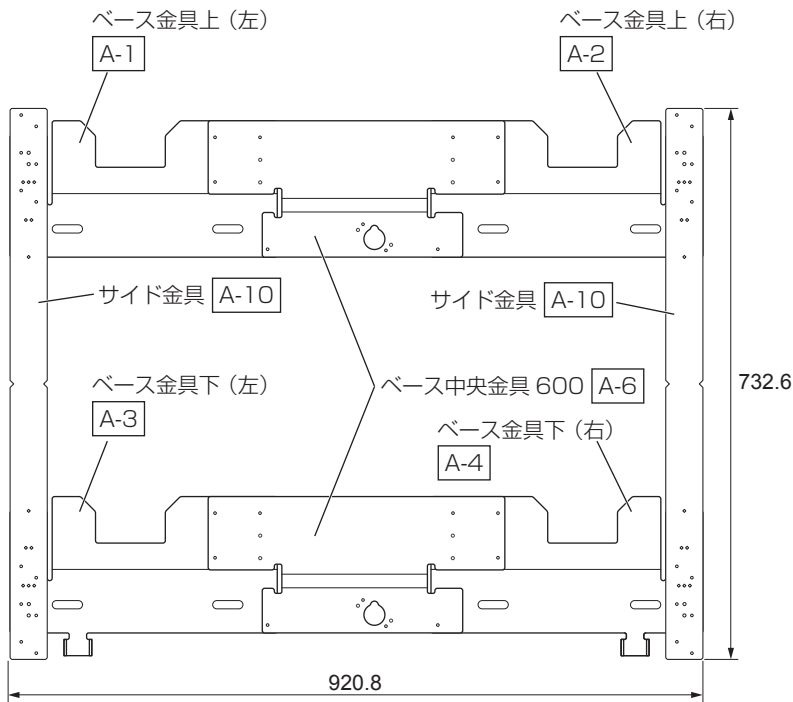


機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方（つづき）

■ 取り付けピッチ（600 × 400）のセット：横置き設置

正面から見た場合

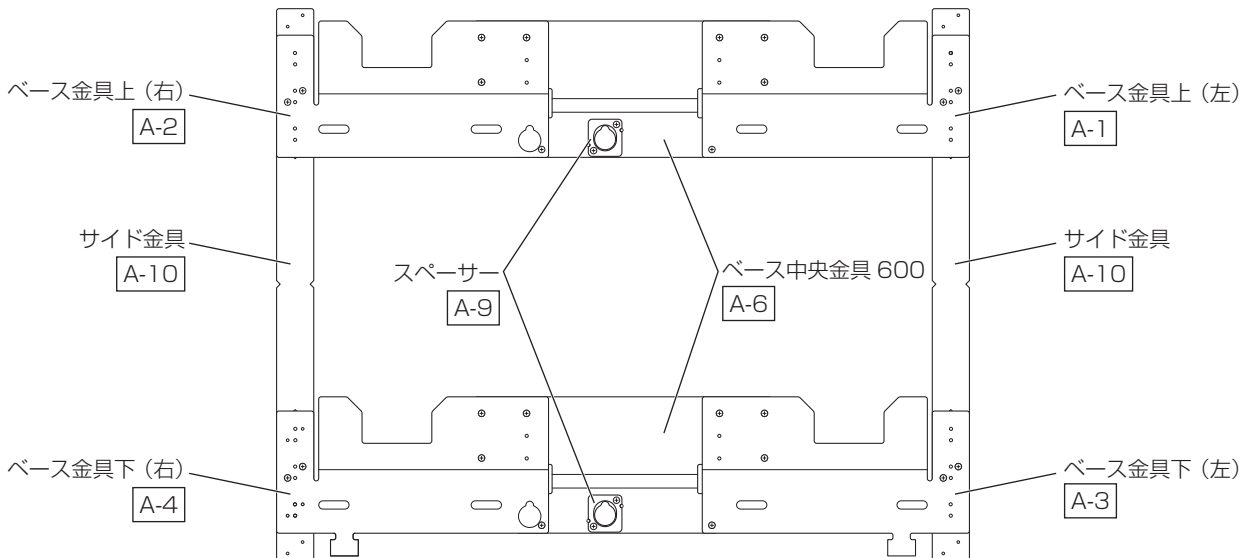
（単位：mm）



A-1	1 個
A-2	1 個
A-3	1 個
A-4	1 個
A-6	2 個
A-9	2 個
A-10	2 個
C-1	28 本

裏面から見た場合

- この面が壁と接します。

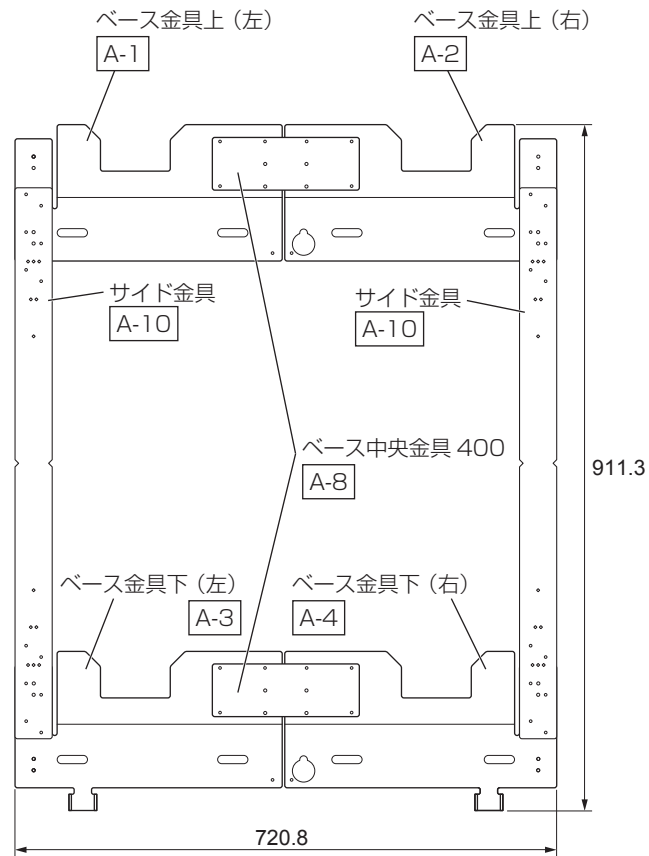


機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方（つづき）

■ 取り付けピッチ（600 × 400）のセット：縦置き設置

正面から見た場合

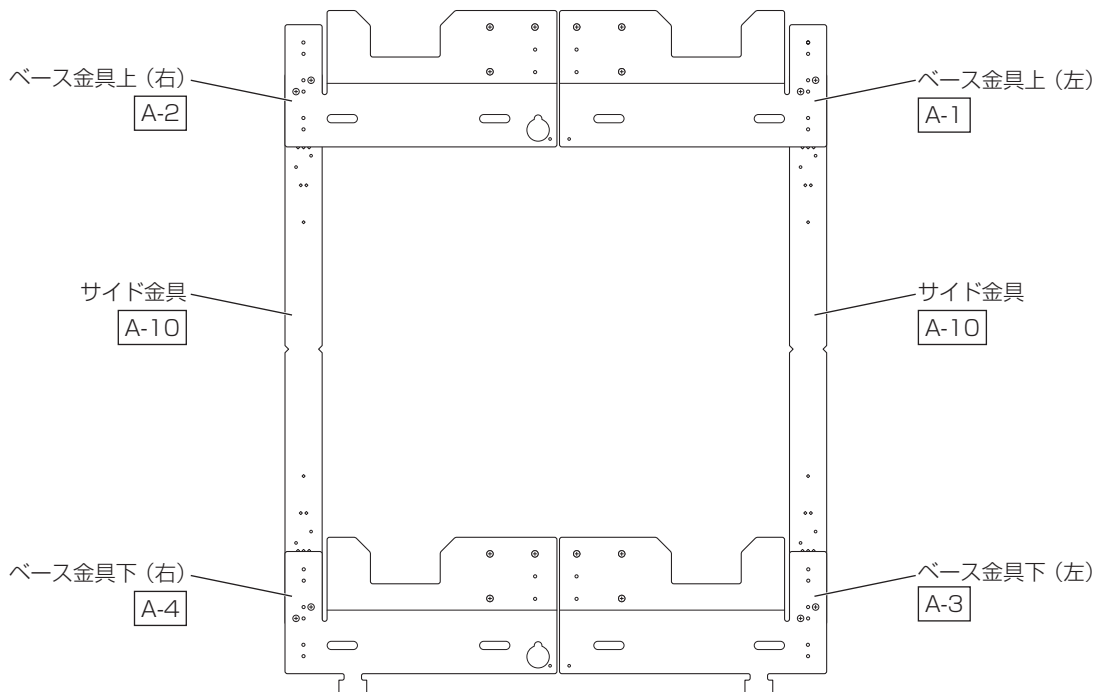
(単位：mm)



A-1	1 個
A-2	1 個
A-3	1 個
A-4	1 個
A-8	2 個
A-10	2 個
C-1	20 本

裏面から見た場合

- この面が壁と接します。

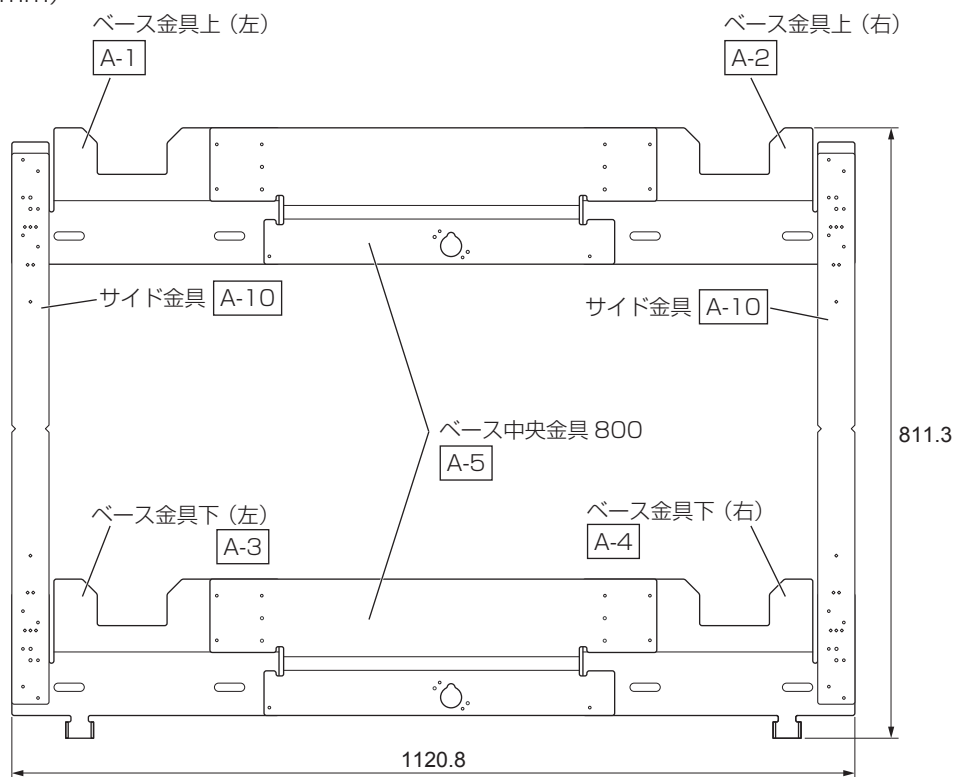


機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方（つづき）

■ 取り付けピッチ（800 × 500）のセット：横置き設置

正面から見た場合

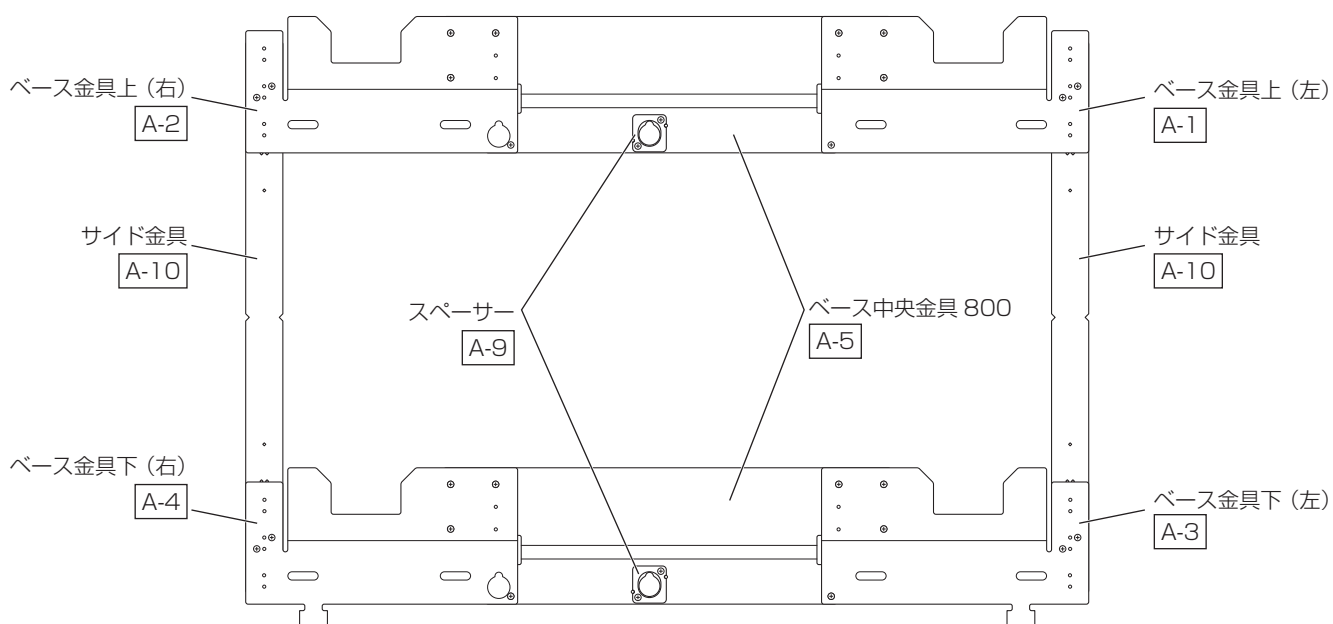
（単位：mm）



A-1	1 個
A-2	1 個
A-3	1 個
A-4	1 個
A-5	2 個
A-9	2 個
A-10	2 個
C-1	28 本

裏面から見た場合

●この面が壁と接します。

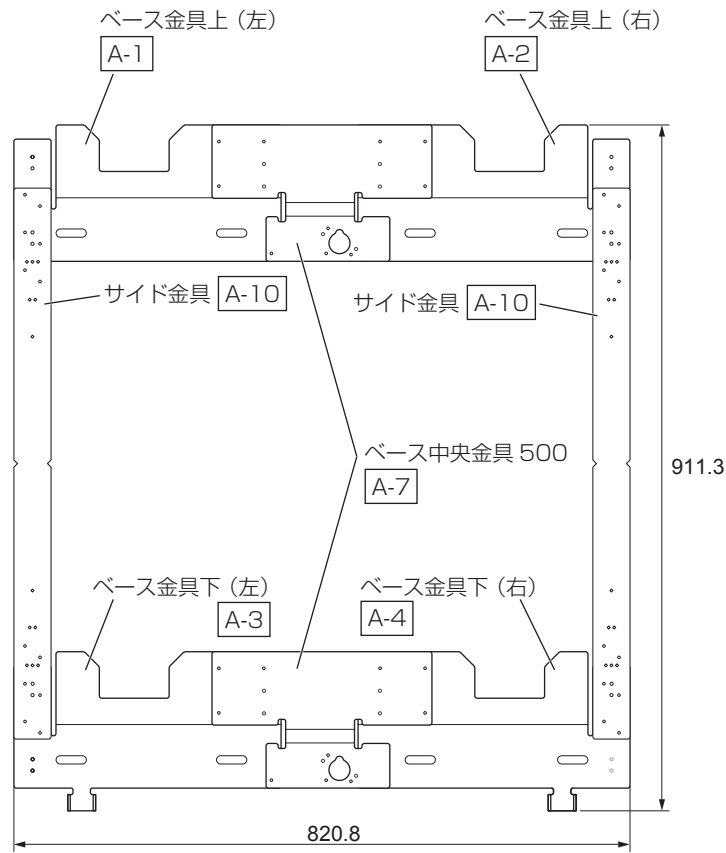


機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方（つづき）

■ 取り付けピッチ（800 × 500）のセット：縦置き設置

正面から見た場合

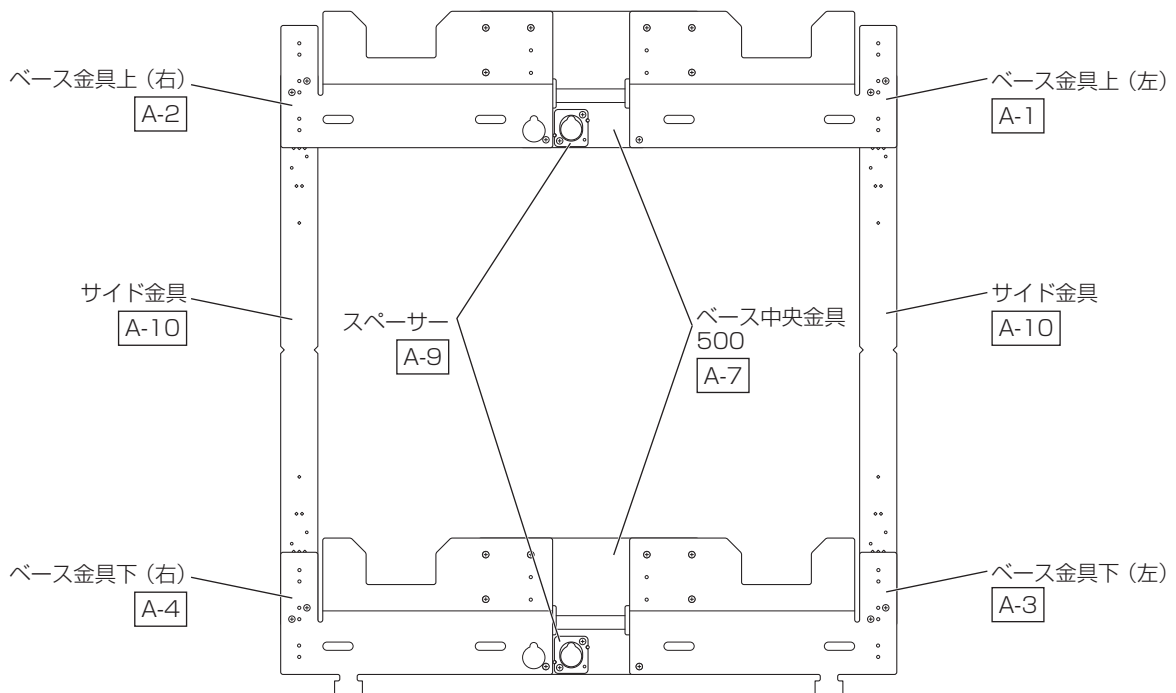
(単位：mm)



A-1	1 個
A-2	1 個
A-3	1 個
A-4	1 個
A-7	2 個
A-9	2 個
A-10	2 個
C-1	28 本

裏面から見た場合

●この面が壁と接します。



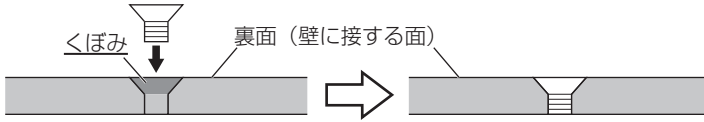
機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方（つづき）

壁面に取り付ける金具の組み立て

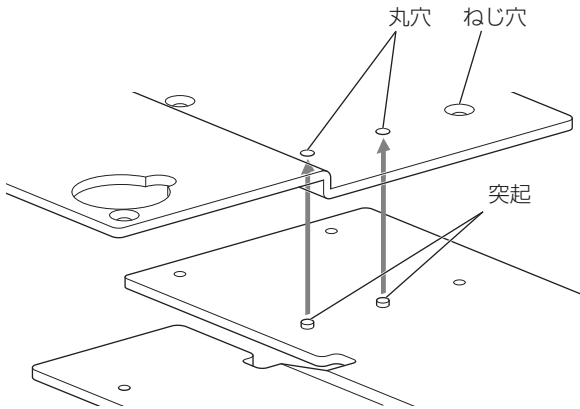
お願い

- ベース金具は裏面（壁に接する面）からねじ止めを行うため、左右が逆になります。ベース金具（右）を左側に、ベース金具（左）を右側に置いて作業を行ってください。

壁面に取り付ける金具の場合

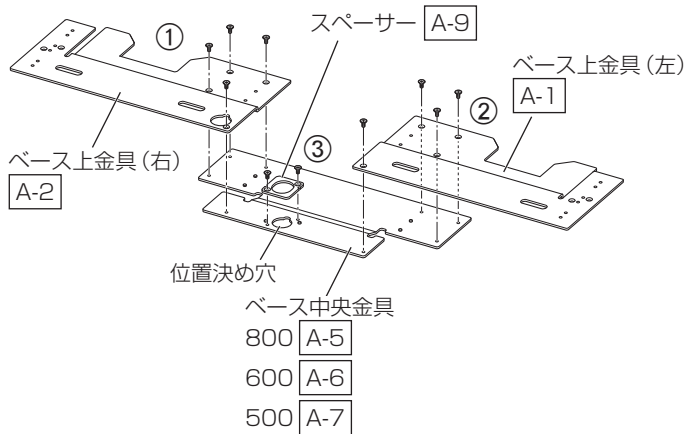


- ねじを取り付ける面には、皿ねじを取り付けた際に平らになるようにくぼみがあります。くぼみがある面から皿ねじを取り付けてください。
- 皿ねじ頭のある面が機器本体、または壁に接します。皿ねじが出ていると取り付けができませんので、皿ねじ頭が金具よりも高くないように、皿ねじを締めこんでください。
- 金具を組み立てる際は、ねじ穴付近にある突起と丸穴をはめ合わせるように金具を置いてください。突起と丸穴がはまっていない状態では、ねじ穴がずれてしまうため、ねじ止めできません。



機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方（つづき）

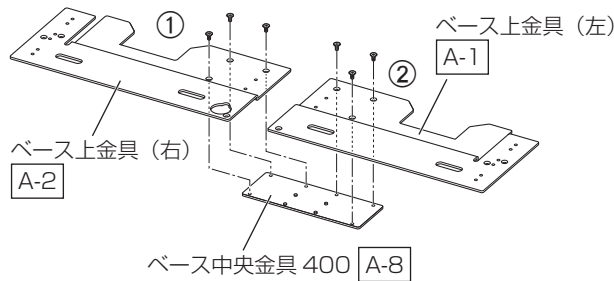
ベース中央金具が 800、600、500 の場合



1) ベース金具（上）を組み立てる

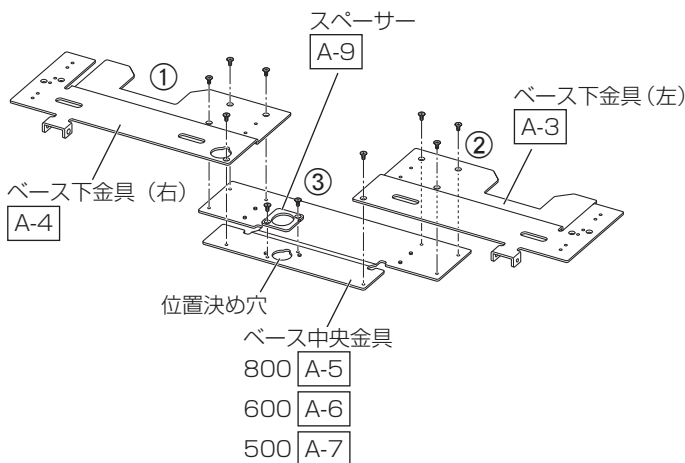
- ① ベース中央金具の左側に、ベース上金具（右）を重ねて置き、皿ねじ 4 本で固定する。
- ② ベース中央金具の右側に、ベース上金具（左）を重ねて置き、皿ねじ 4 本で固定する。
- ③ ベース中央金具の位置決め穴に、スペーサーを重ねて置き、皿ねじ 2 本で固定する。
(締め付けトルクは 1.4 ~ 1.6 N・m)

ベース中央金具が 400 の場合



- ① ベース中央金具の左側に、ベース上金具（右）を重ねて置き、皿ねじ 3 本で固定する。
- ② ベース中央金具の右側に、ベース上金具（左）を重ねて置き、皿ねじ 3 本で固定する。
(締め付けトルクは 1.4 ~ 1.6 N・m)

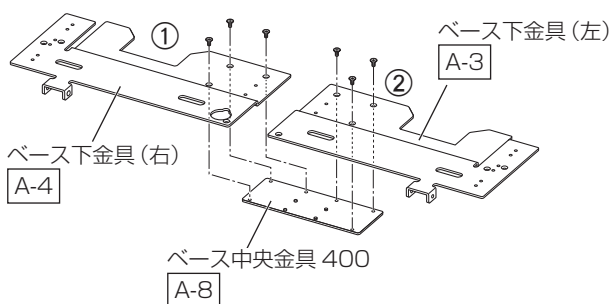
ベース中央金具が 800、600、500 の場合



2) ベース金具（下）を組み立てる

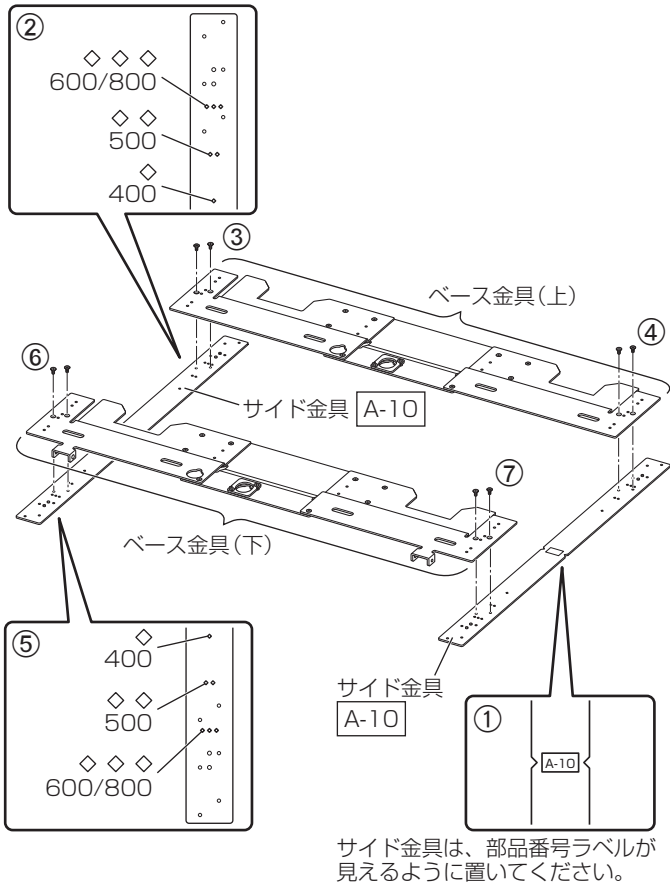
- ① ベース中央金具の左側に、ベース下金具（右）を重ねて置き、皿ねじ 4 本で固定する。
- ② ベース中央金具の右側に、ベース下金具（左）を重ねて置き、皿ねじ 4 本で固定する。
- ③ ベース中央金具の位置決め穴に、スペーサーを重ねて置き、皿ねじ 2 本で固定する。
(締め付けトルクは 1.4 ~ 1.6 N・m)

ベース中央金具が 400 の場合



- ① ベース中央金具の左側に、ベース下金具（右）を重ねて置き、皿ねじ 3 本で固定する。
- ② ベース中央金具の右側に、ベース下金具（左）を重ねて置き、皿ねじ 3 本で固定する。
(締め付けトルクは 1.4 ~ 1.6 N・m)

機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方 (つづき)



3) ベース金具(上/下) にサイド金具を取り付ける

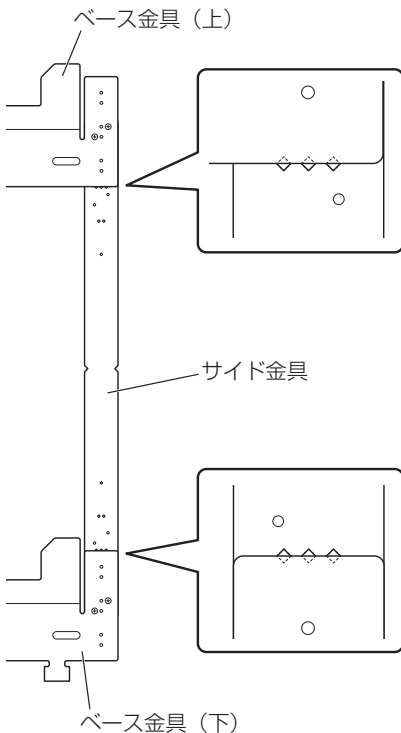
- ① サイド金具を、部品番号ラベルの貼られている面を上にして置く。
- ② 図のようにサイド金具の上部にある、◇ 穴の位置を確認する。
 - 機器本体の取り付けピッチにより、取り付け位置が異なります。
- ③ 片方のサイド金具の上部に、ベース金具(上)の左側を重ねて置き、皿ねじ 2 本で固定する。
- ④ もう片方のサイド金具の上部に、ベース金具(上)の右側を重ねて置き、皿ねじ 2 本で固定する。
- ⑤ 図のようにサイド金具の下部にある、◇ 穴の位置を確認する。
- ⑥ 左側のサイド金具の下部に、ベース金具(下)の左側を重ねて置き、皿ねじ 2 本で固定する。
- ⑦ 右側のサイド金具の下部に、ベース金具(下)の右側を重ねて置き、皿ねじ 2 本で固定する。
(締め付けトルクは 1.4 ~ 1.6 N・m)

お願い

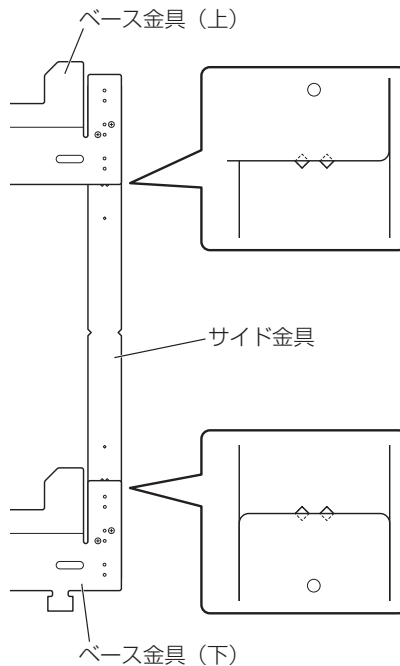
- ベース金具(上)、およびベース金具(下)を取り付ける際は、サイド金具の ◇ 穴が半分隠れるように重ねて置いてください。

ベース金具の取り付け位置

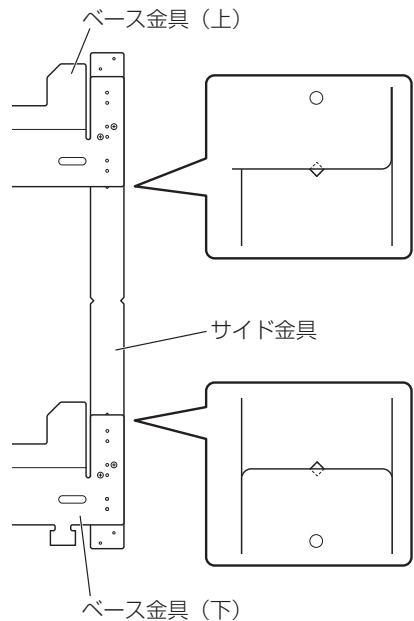
機器本体の取り付けピッチが 600/800 の時



機器本体の取り付けピッチが 500 の時



機器本体の取り付けピッチが 400 の時



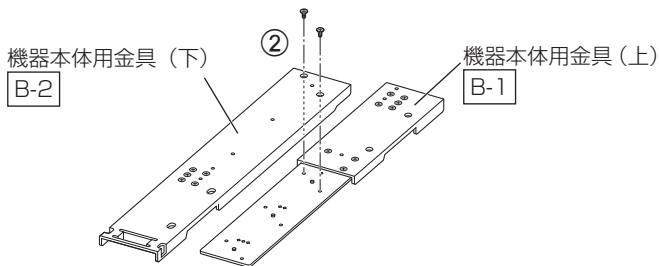
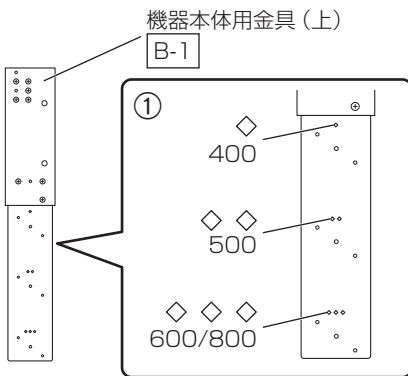
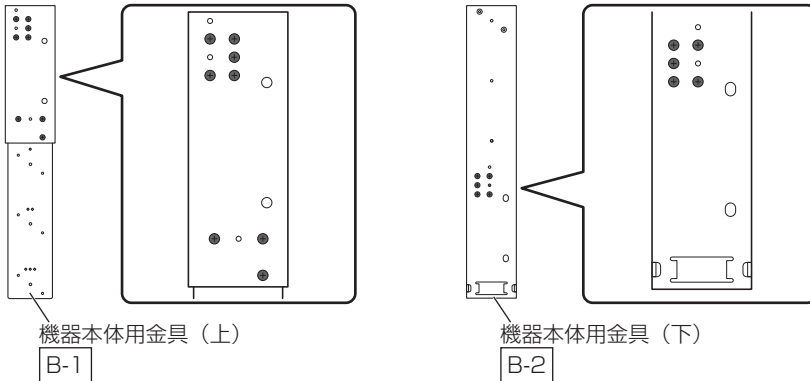
機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方（つづき）

機器本体に取り付ける金具の組み立て

お願い

- 「黒色の皿ねじの位置」の図の位置にある黒色の皿ねじは、絶対に外さないでください。機器本体が落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

黒色の皿ねじの位置



1) 機器本体用金具を組み立てる

- ① 機器本体用金具(上)の◇穴の位置を確認する。
 - 機器本体の取り付けピッチにより、取り付け位置が異なります。
- ② 機器本体用金具(上)に、機器本体用金具(下)を重ねて置き、皿ねじ2本で固定する。
(締め付けトルクは 1.4 ~ 1.6 N・m)

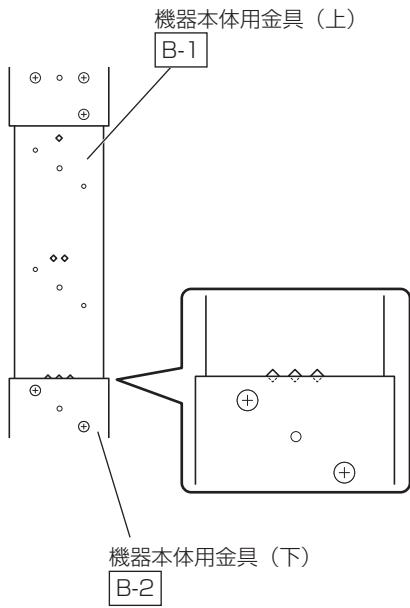
お願い

- 「機器本体用金具(下)の取り付け位置」(17ページ)の図のように機器本体用金具(上)にある◇穴の下半分が隠れるように重ねて置いてください。
- 皿ねじはすべて、皿ねじが金具よりも高くないように締めこんでください。ねじ頭が出ていると、機器本体を傷つけます。

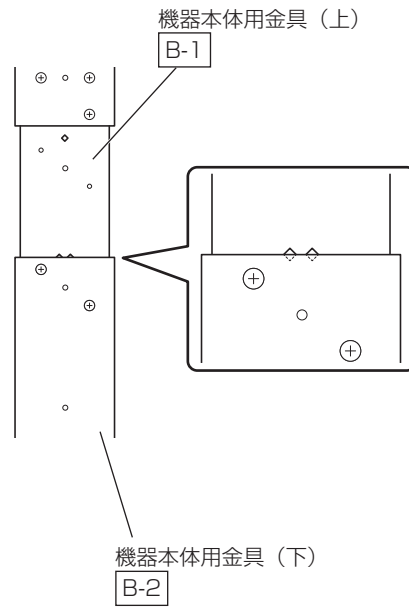
機器本体の取り付けピッチに合わせた金具の組み立て方（つづき）

機器本体用金具（下）の取り付け位置

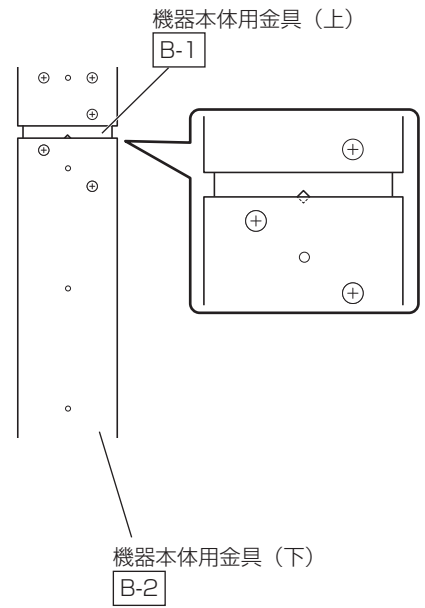
機器本体の取り付けピッチが
600/800 の時



機器本体の取り付けピッチが
500 の時



機器本体の取り付けピッチが
400 の時



取り付け方

お願い

- 機器本体の液晶部分に力を加えると液晶が破損します。必ず機器本体の枠を持って作業を行ってください。
- 壁に取り付けた金具に機器本体を固定する際、フック 4 か所を切り欠き部分へ同時にはめ込んでください。
- 縦置き設置の場合、機器本体用金具の取り付け位置が、機器本体の中心にならないことがあります。事前に機器本体用金具の取り付け位置をご確認のうえ、壁面の金具取り付け位置を決めてください。
- 壁面への取り付けは、壁面の材質（木材、鉄骨、コンクリート等）に合った市販品のボルトをご使用ください。

機器本体への金具の取り付け

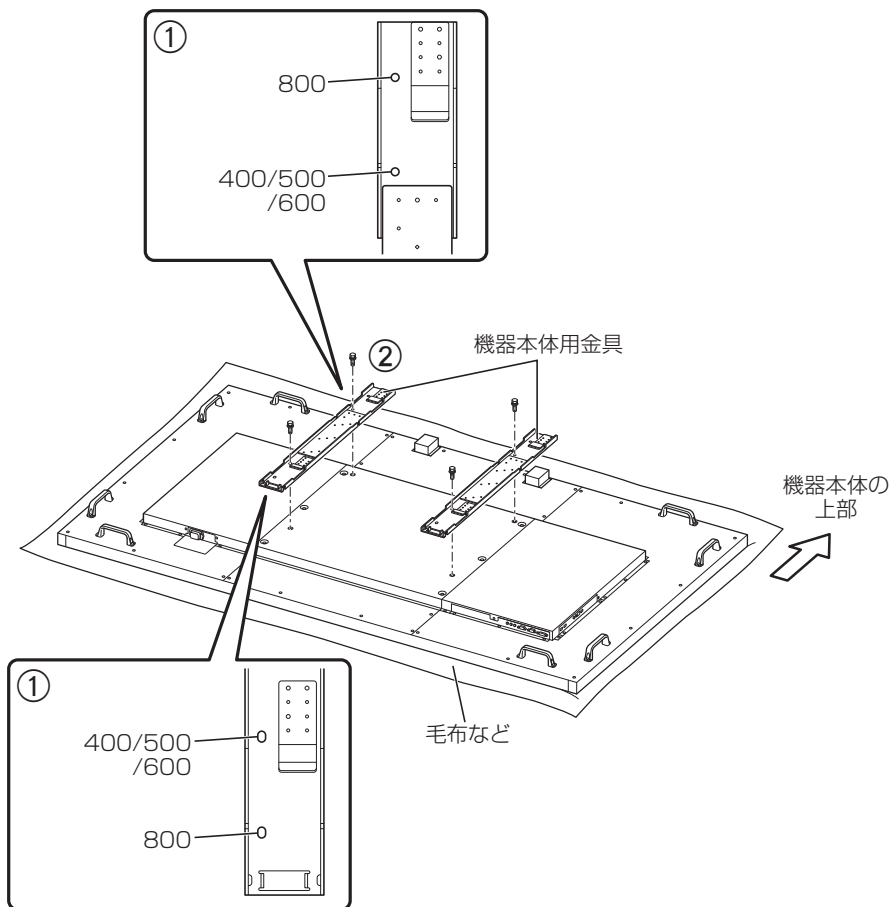
お願い

- 機器本体へ機器本体用金具の取り付け作業を行う際は、機器本体を傷つけないように、汚れや異物がついていないきれいな毛布などの上に置いて作業を行ってください。
- 機器本体の取り付け、取り外しは本体が 25 kg 以上のときは 2 人、50 kg 以上のときは 4 人で行ってください。機器本体が落下して、けがの原因となることがありますので、機器本体の取扱説明書に従って作業を行ってください。

機器本体のイラストは機種により異なります。
以下のイラストは対応機種の一例です。

1) 機器本体用金具を機器本体に取り付ける

- ① 機器本体のねじの取り付け位置を確認し、ねじ穴に合わせて機器本体用金具を置く。
 - 機器本体の取り付けピッチにより、取り付け位置が異なります。
- ② 機器本体固定用ねじで固定する。
 - 機器本体固定用ねじのサイズは、機器本体の取扱説明書に従ってください。
(M6 は締め付けトルクは 1.8 ~ 2.2 N・m、M8 は締め付けトルクは 2.0 ~ 3.0 N・m)



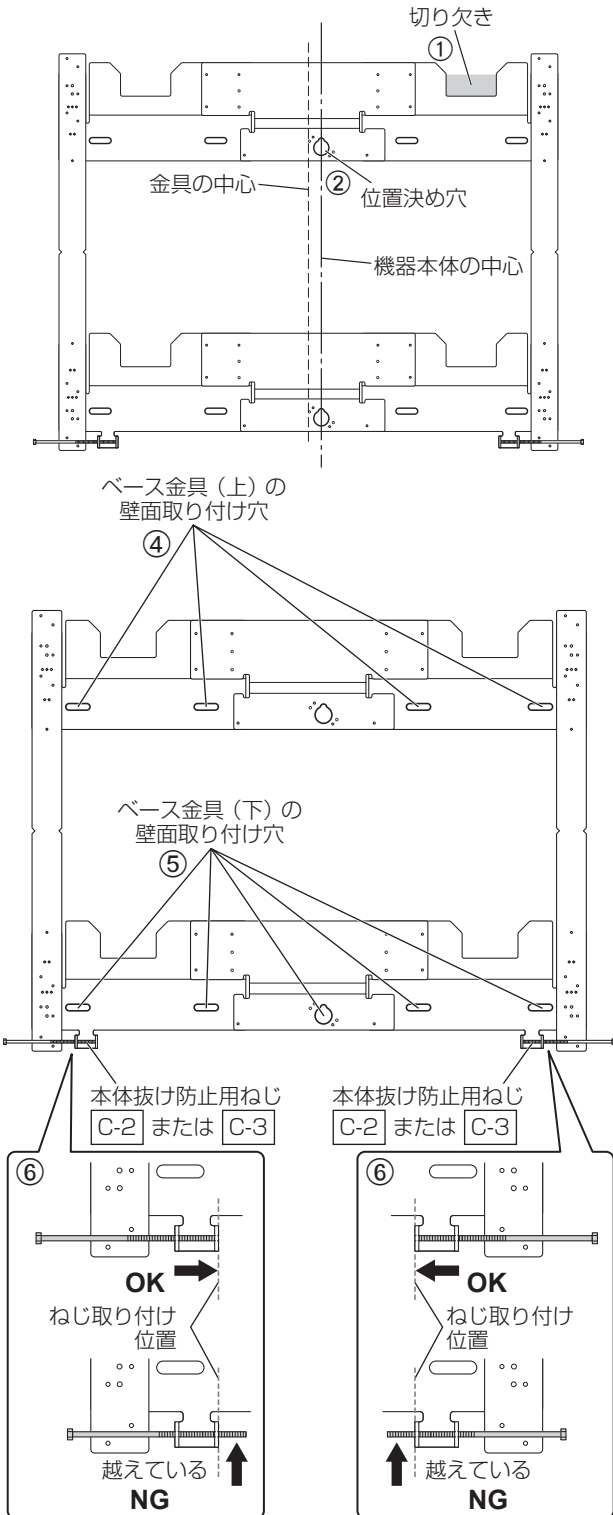
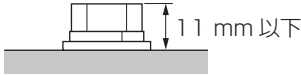
取り付け方 (つづき)

壁面への金具の取り付け

お願い

●壁面に金具を取り付ける際は、頭部の高さがワッシャーの厚さを含んで 11 mm 以下になるボルトをご使用ください。

ボルトの頭部の高さが 11 mm を越える場合、機器本体と干渉して機器本体を傷つけます。



1) 壁面に取り付ける金具を壁に取り付ける

●位置決め穴の中心が、機器本体の中心です。

- ① ベース金具の切り欠きが上になるように、壁に取り付ける。
- ② ベース金具 (上) にある、位置決め穴をボルトで壁に固定する。
- ③ 水平器を使い、金具の傾きを修正する。
- ④ ベース金具 (上) にある、残りの取り付け穴 4 か所をボルトで壁に固定する。
- ⑤ ベース金具 (下) にある、取り付け穴 5 か所をボルトで壁に固定する。
- ⑥ ドライバーを使用して、ベース金具 (下) に本体抜け防止用ねじ (M5 × 200) を取り付ける。

(締め付けトルクは 1.4 ~ 1.6 N · m)

●本体抜け防止用ねじ取り付け部は、取り付け金具の左右にあります。

機器本体の取り付け後に、本体抜け防止用ねじの締め付け作業を行いますので、作業スペースが確保できる方に取り付けてください。

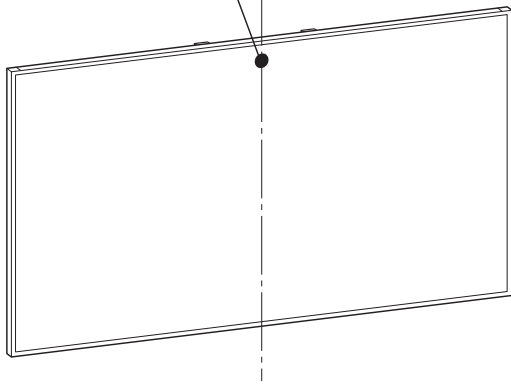
●設置時に、本体抜け防止用ねじが機器本体よりも長くなる場合は、本体抜け防止用ねじ (M5 × 70) に付け替えてください。

●図のように本体抜け防止用ねじは、ベース金具 (下) のねじ取り付け位置を超えないように締めこんでください。ねじ取り付け位置を超えて締めこんだ場合、正常な位置に機器本体が設置できず、危険です。また壁掛け金具や機器本体を破損することがあります。

左右どちらか一方に、本体抜け防止用ねじを取り付けてください。

取り付け方 (つづき)

機器本体の中心の目印



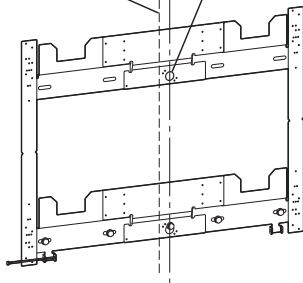
2) 機器本体と壁面に、機器本体の中心の目印をつける

- ① 機器本体の横幅を計測し、中心の目印を機器本体の天面部につける。
- ② 位置決め穴の延長線上の壁面に、機器本体の中心を合わせるための目印をつける。
 - 壁面の目印は、機器本体を持ち上げた際にも確認できる位置につけてください。
 - 壁に取り付けた金具の位置決め穴が、機器本体の中心となります。金具の中心は、取り付け時の目安ではありません。

機器本体の中心の目印

金具の中心

位置決め穴のセンターが
機器本体の中心です

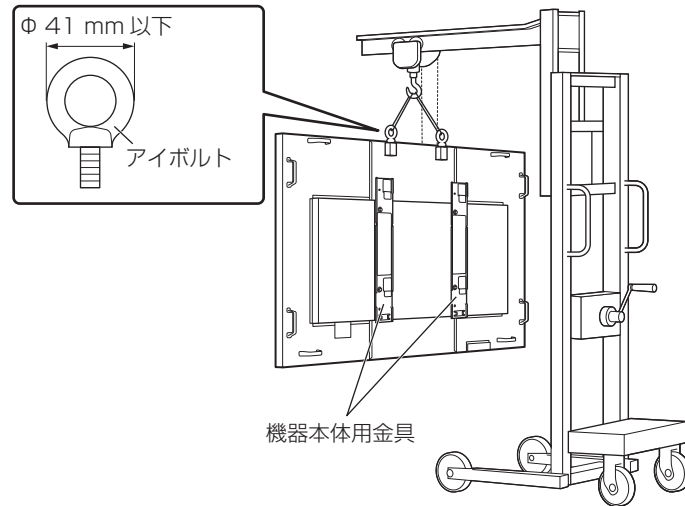


取り付け方（つづき）

機器本体側の準備

お願い

- 大型機器本体を取り付ける作業では、重量物のためつり下げ用装置（機械）を使って慎重に行ってください。機器本体のイラストは機種により異なります。以下のイラストは対応機種の一例です。



- つり下げ作業を行う時には、機器本体にアイボルトを取り付けてつり下げてください。
- アイボルトの直径は、φ 41 mm 以下のものをご使用ください。
アイボルトの直径がφ 41 mm を越える場合、アイボルトと機器本体が干渉してアイボルトを取り付けることができません。
- 機器本体背面に操作部があります。取り付け時に周囲のものにぶつけないようにしてください。
- 機器本体の裏側にある電源コードや接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、機器本体に電源コードや接続ケーブルを接続してから設置を行ってください。
- コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、プラグをコンセントに差ししてください。

取り付け方（つづき）

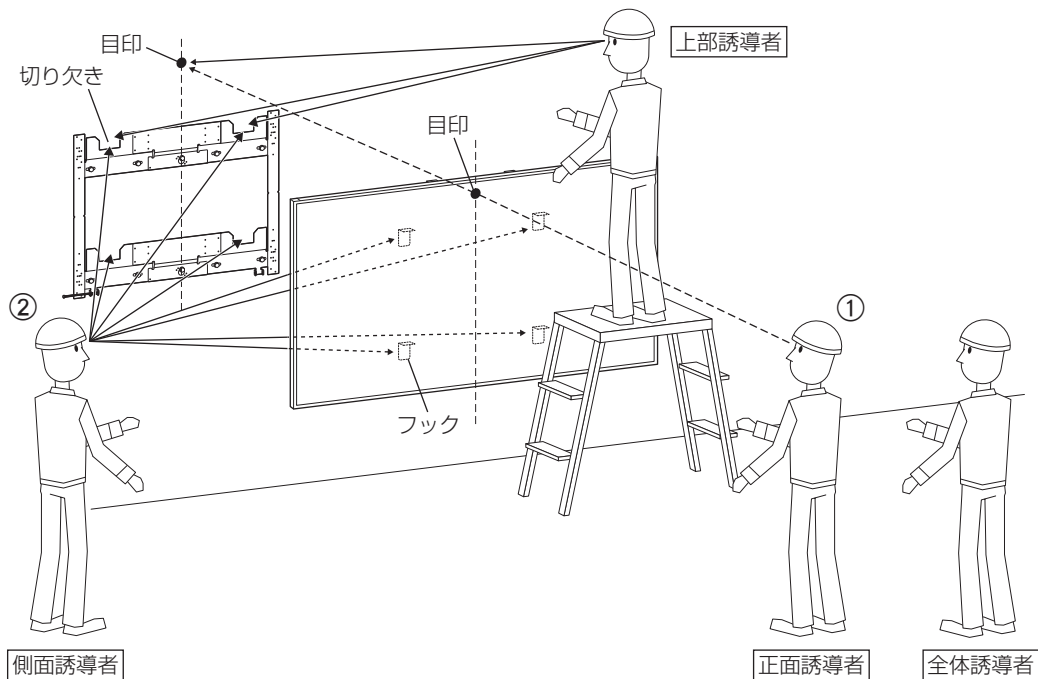
機器本体の設置

1) 機器本体を壁掛け金具に取り付ける

- ① 機器本体が水平になっているかを確認しながら、壁に貼り付けた目印の下に、機器本体に貼り付けた目印を合わせる。
- ② 機器本体用金具についているフックが、壁面に取り付けた金具の切り欠きより上にあることを確認する。
- ③ 機器本体用金具のフックを、壁面に取り付けた金具の切り欠きへ、4か所同時に差し込む。
 - 中心がずれていたり傾いていたりすると、切り欠き部分にフックがはまらない場合があります。

お願い

- 設置時には、機器本体の取り付けを行う作業員以外に、作業員を誘導する誘導員が必要です。フックと切り欠きの引っ掛けを確認する上部誘導者と側面誘導者、セットの中心を確認する正面誘導者、全体を見渡す全体誘導者が必要です。

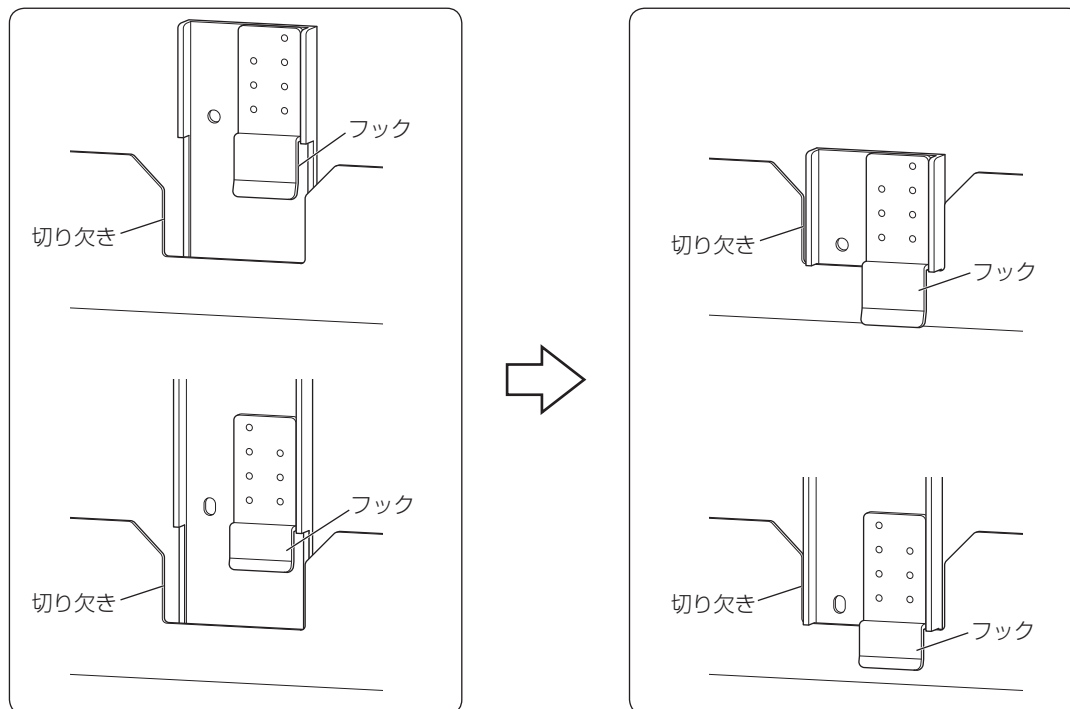


- 機器本体用金具を壁面の金具に取り付ける際は、機器本体全体を壁に押し付けるようにしながら取り付けを行ってください。機器本体と壁の間にすき間があると、フックが掛からず取り付け不良が発生します。

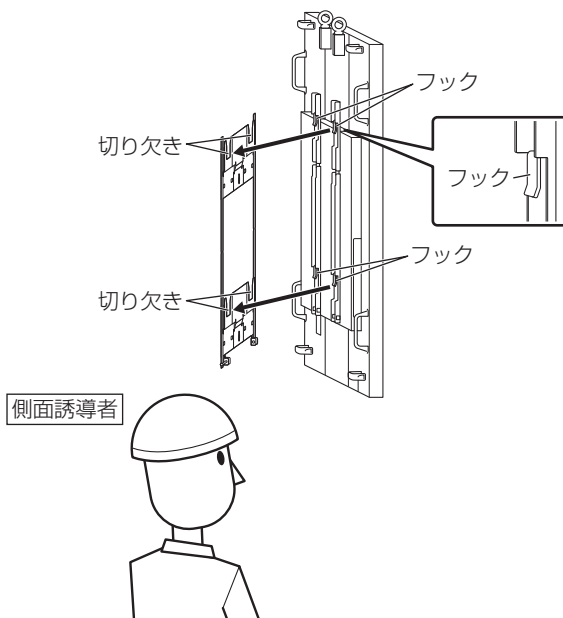
取り付け方（つづき）

- フックが切り欠きより上にあることを確認してください。

ベース金具（上/下）への機器本体金具の取り付け



- 下図のように側面から見ると視界が狭く、切り欠きとフックの位置の確認がしづらいです。各誘導者の指示を確認しながら、慎重に機器本体の取り付けを行ってください。



- ④ 設置後すぐに機器本体の上部を軽く手前に引き、機器本体と壁間のすき間が広がらないことを確認して、上フック金具が間違いなく固定されていることを確認する。
- ⑤ 機器本体の下部を軽く手前に引き、機器本体と壁間のすき間が広がらないことを確認して、下フック金具が間違いなく固定されていることを確認する。

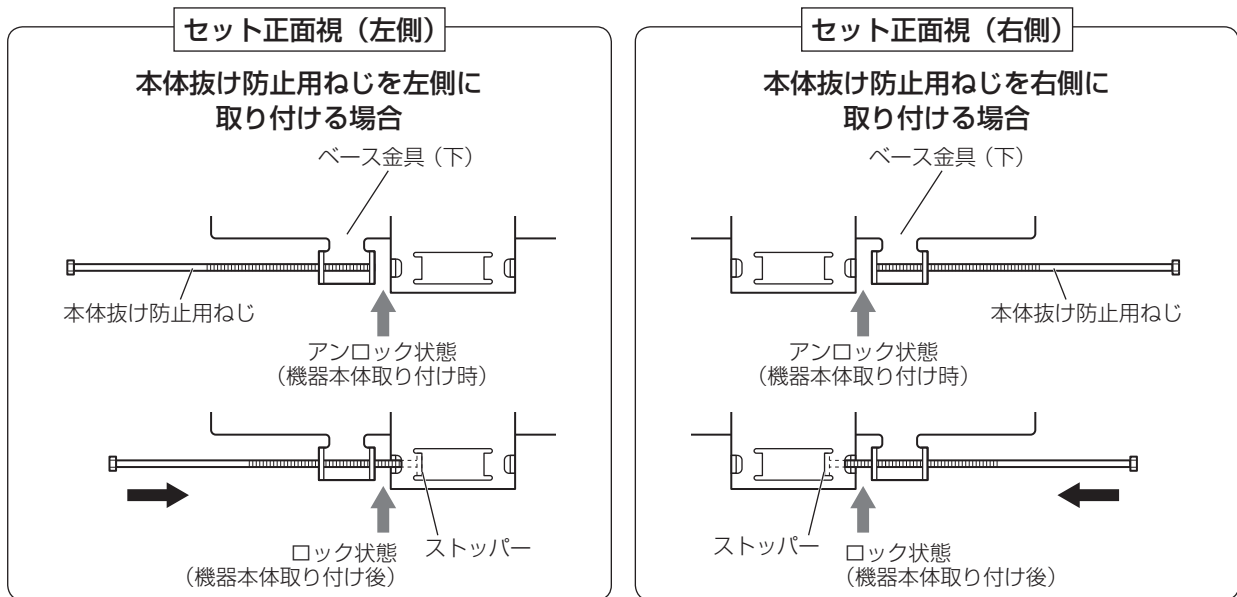
お願い

- 上記の確認作業を行い、フック金具がすべて間違いなく固定されていることを、必ず確認してください。

取り付け方（つづき）

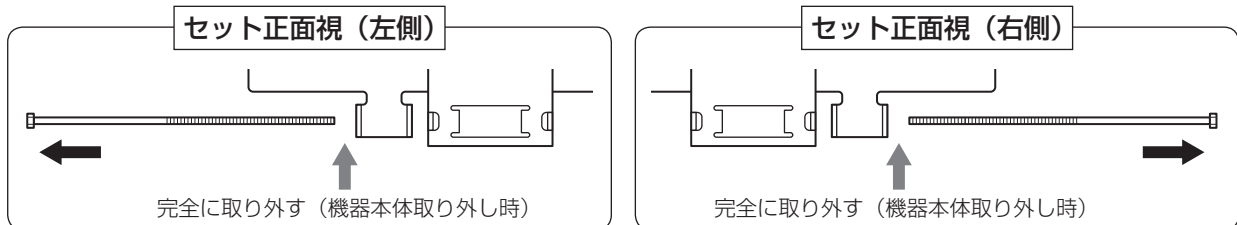
2) 機器本体をロックする

- ① ロングドライバーを使用して、本体抜け防止用ねじが機器本体用金具のストッパーに届くまで締めこむ。
(本体抜け防止用ねじは右回転で締め付けになります。)
●左右どちらか一方に、本体抜け防止用ねじを取り付けてください



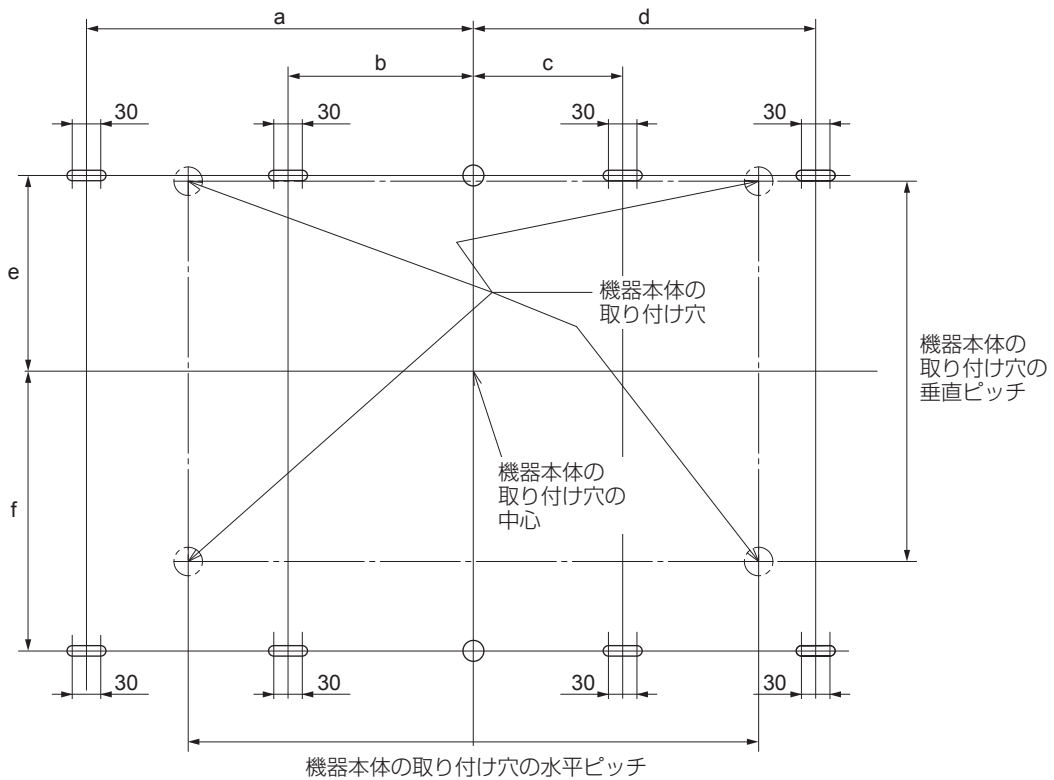
3) 機器本体を取り外す場合

- ① 機器本体をロックしている本体抜け防止用ねじを、ロングドライバーを使用して完全に取り外してください。
(本体抜け防止用ねじは左回転で取り外しになります。)
●壁掛け金具に本体抜け防止用ねじが残っていると、機器本体がロックされたままの状態になります。
- ② 取り付け時とは逆の手順で、機器本体の取り外しを行ってください。



壁面取り付け穴位置寸法図

(単位：mm)



取り付けピッチ	機器本体の設置方向	a	b	c	d	e	f	寸法 (W × H)
800 × 500	横置き	507	295	257	460	256	344	1120.8 × 811.3
	縦置き	357	145	107	310	306	394	820.8 × 911.3
600 × 400	横置き	407	195	157	360	206	294	920.8 × 732.6
	縦置き	307	95	57	260	306	394	720.8 × 911.3
400 × 400	横 / 縦置き	307	95	57	260	206	294	720.8 × 732.6

機器毎の取り付けピッチは、下記ウェブサイトに掲載されている各機器の仕様書、または取扱説明書で確認できます。

https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/spec_manual/

ねじ締め付けトルク

ねじの名称	ねじの呼び径	締め付けトルク [N・m]
皿ねじ (M4 × 6)	M4	1.4 ~ 1.6
機器本体固定用ねじ (M6 × 12)	M6	1.8 ~ 2.2
機器本体固定用ねじ (M8 × 20)	M8	2.0 ~ 3.0
本体抜け防止用ねじ (M5 × 70)	M5	1.4 ~ 1.6
本体抜け防止用ねじ (M5 × 200)	M5	1.4 ~ 1.6

MEMO

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル  **0120-872-002**
※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号